

## 【事業実績】

### 1. 文化のクロスロードとしてのヤマト・天理を学ぶ

#### (1) 中核館の研究領域に関連する最新の研究成果を学ぶ機会の提供

##### 連続講座「発見！世界の考古学」5回の実施

会場：天理大学附属天理参考1階エントランスホール・2階ホール／参加者のべ310名

第1回 2020年10月9日(金)／参加者80名

「なぜピラミッドは造られたのか？」

—古代メキシコの摩天楼と都市の萌芽—

講師：嘉幡 茂(京都外国語大学 嘱託研究員)

第2回 2020年11月13日(金)／参加者87名

「古代インド文明を探る—その多様性と統一性—」

講師：上杉彰紀(金沢大学 人間社会研究域附属国際文化資源学研究センター特任准教授)

【第3回】新型コロナウイルス感染拡大による渡航制限により講師が現地から帰国することができず中止

第4回 2021年1月15日(金)／参加者36名

「古代アンデスの宗教と儀礼」

講師：渡部森哉(南山大学 教授)

第5回 2021年2月12日(金)／参加者45名

「海域アジアへ移住したサピエンスの海洋・島嶼適応

—日本・東南アジア・オセアニアの事例から—

講師：小野林太郎(国立民族学博物館 准教授)

第6回 2021年3月12日(金)／参加者62名

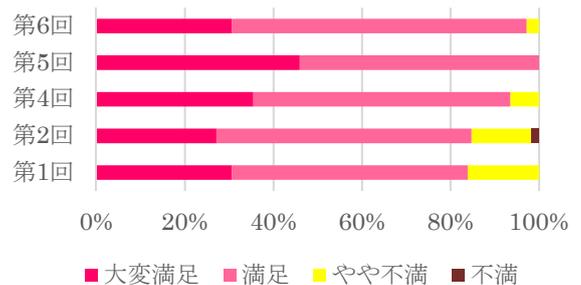
「古代エジプトのピラミッドとは何か？」

—その発展過程とメドゥムのピラミッド—

講師：大城道則(駒澤大学 教授)



#### 連続講座参加者 満足度



#### 参加者の感想

(第1回)・メキシコ関係のイベントが少なく貴重であった。

・少し難しかった。・講演時間がもう少しあれば良かったと思います。(第2回)・やや総論的であった。・整理券、マイク音量など細かいところの配慮ありがとうございました。

(第4回)・多少の講演料を負担しても誠に結構なイベントですので、これからも月一回は定期的で開催してほしいと思います。(第5回)・海洋の歴史はなかなか聞くことがなかったので良かったです。・中止の講座がありましたが、いつも素晴らしい講師を招いての講演で、大変わかりやすく勉強になります。(第6回)・いつもこの講座を楽しみにしています。

#### (2) ヤマト・天理地域の遺跡と博物館施設における実地研修

歴史ウォーク～バスで訪ねる文化遺産～「大和の中のヤマトーヤマトと周辺の遺跡ー」全3回を計画し、広報および検討会を行ったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

## 2. 公的空間における地域と共働したアウトリーチ活動

### (1) 駅前公的空間で開催する参加体験型イベントによるアウトリーチ活動

#### 「駅前出前博物館ワークショップ」4回の実施

会場:天理駅前広場コフン南団体待合所／参加者のべ75名

第1回 9月13日(日)「古代の首飾りを作ろう！」講師:藤原郁代(中核館学芸員) /参加者30名

第2回 10月11日(日)「バスケットを作ってみよう！」講師:梅谷昭範(中核館学芸員) /参加者25名

第3回 11月15日(日)「硬券キップを切ってみよう！」講師:乾誠二(中核館学芸員)、田中芳英(外部有識者)  
/参加者5名

第4回 12月13日(日)「はにわと土の人形を作ってみよう！」講師:日野宏(中核館学芸員) /参加者15名



【第1回】古代の首飾りを作ろう！



【第2回】バスケットを作ってみよう！



【第4回】はにわと土の人形を作ってみよう！

#### 参加者の感想

(第1回)・子どもたちと楽しい時間を過ごすことができました。子どもの成長を感じました。ありがとうございました。  
・説明もわかりやすく迷うことなく楽しく作業できました。(第2回)・むずかしかったけどやりがいはあった。(第3回)・楽しかったです。

## 3. 旅行者・外国人訪問者に対する情報の発信活動

### (1) ヤマト・天理の歴史文化の魅力を発信するツールの作成

#### 「天理おさんぽマップ」日本語版・英語版(A3 両面カラー)各2,000部作成・配布

地域の魅力を紹介する地図「天理おさんぽマップ」を天理市観光協会監修にて作成。奈良県内・天理市内の観光案内所等へ配布。

令和2年度 文化庁 地域と共働した博物館創造活動支援事業「ヤマト・天理の歴史文化をめぐる」プロジェクト

[https://www.sankokan.jp/news\\_and\\_information/ev\\_etc/yamatotenri2020.html](https://www.sankokan.jp/news_and_information/ev_etc/yamatotenri2020.html)

